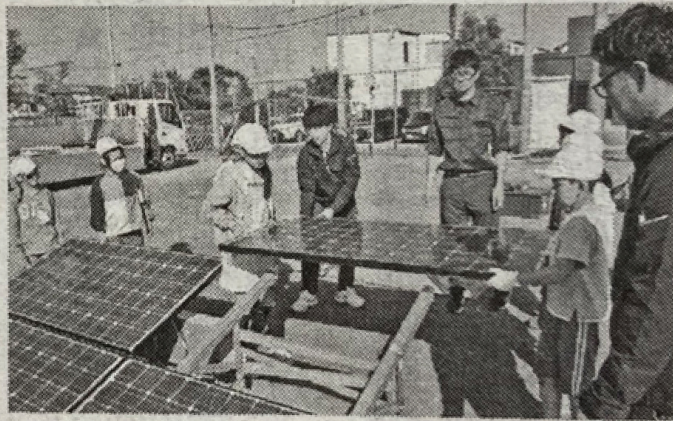


芳川小で太陽光 発電の施工体験

エネジン

エネジン(浜松市中区、藤田源右衛門社長)は、子どもたちにエネルギーについて考えるきっかけづくりのため、浜松市立芳川小学校の5年生105人を対象とする太陽光発電の施工体験授業を行った。写真。



授業では、同社社員らが太陽光電池で動く身近なものを紹介。その後、

実際に太陽光発電システムを架台から組み立てる作業を体験。太陽光パネルで発電した電気を動力に変換し、扇風機や照明、ラジオが実際に動くことを確認した。

同社は10年以上前から浜松市内の小学校を対象に同様の授業を実施。これまで延べ47校、400人以上の児童らに太陽光やエネルギーに関する授業を実施している。